

独占!
袋とじ

フィギュアの女王 村主章枝の全裸フルヌー

全国うまい駅弁 / 脳寿命を延ばす方法 / 移籍 - 栗山英一
デパスは危険! この「睡眠薬・安定剤」飲んではいけな

週刊現

祝!
新春合
特大号

2017年は本物の「上げ相場」に備えよ

株価は8月に2万5000円を超える

超豪華 新春特大号
スクープグラビア
4連発!

12/31

特別定価450円

1/7

Weekly Gendai



独占スクープ袋とじ

冬季五輪に2度出場した
「フィギュア界の女王」

村主章枝

正真正銘の

住友商事 三菱重工 J-
トランプと習近平
すごいぞ、2017

大予測 日本と

巻頭大特集

新春スペシャル対談
山中伸弥×羽生善治
ノーベル賞
最強棋士

芸能記者覆面座談

その薬も、
知っておかないと
危ない

新

患者にはいっさい知らされないが、副作用の情報は刻々と更新されている

知って
おかないと
危ない

新たに認定した 「副作用のある薬30」

厚労省が 新たに 「副作用

全然知らない医者もいる

その文書はいかにも官僚的な文句で始まる。「平成28年10月18日に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容等とともに改訂の根拠となった症例の概要等に関する情報を紹介します」

続いてリピトール錠5mg、クレストール錠2.5mgといった具体的な薬の名前が並び、「免疫性壊死性ミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと」と副作用の説明がなされる。

これは厚生労働省がほ

あなたの飲んでる薬にも、新しい副作用が追加されているかもしれない。厚労省が改訂指示を出す薬の安全情報は、なんと年に500件近くに上る。だが医者があなたにそれを教えるとは限らない。

は毎月発表している「医薬品・医療機器等安全性情報」の一部だ。この情報には、ふだん病院で処方されていたり、市販されていたりする薬の「使用上の注意の改訂」や「重要な副作用等に関する情報」が記載されている。薬の副作用への知識や警戒感、人によって大きく異なる。医師に言われたまま飲む人もいれば、副作用を知るために薬の添付文書に書かれている内容をきちんと読む人もいる。しかし、このような形で毎月のように情報が更新され、新しい副作用が次々と書き加えられていることを知っている一般人はほとんどいない。

ないだろう。

どのような仕組みで、「新しく重要な副作用」は加筆されていくのだろうか。東京大学大学院薬学系研究科の小野俊介准教授が語る。

「副作用が厚労省に報告されるルートは3つあります。製薬会社、医者、患者です。医療機関で処方されている薬に副作用が認められた場合、製薬会社は厚労省に届け出る強い義務があります。MRと呼ばれる企業の医薬品情報担当者がクリニックや病院を回って、副作用情報を集め、それをまとめて報告するのです。また、医者自身も厚労省に報告する義務がある。

ただし、これは製薬会社の義務ほど強いものではないので、副作用が過少に報告されているといわれています。実際、医者が発見した副作用のうち、10%ほどしか報告がなされていないという海外の研究もあるくらいです。他には患者が直接厚労省に訴え出るというケースもある」

こうして集められた副作用情報は、国内の企業分だけでなんと年間3万5万件にも及ぶ。そのデータをPMDA（医薬品医療機器総合機構）という独立行政法人が精査し、新たに薬の添付文書に加えるべき副作用や、

降圧剤のノルバスクは劇症肝炎
利尿剤のダイアートは白血球減少
エクラは皮膚の水疱
口は筋力低下
胃薬のネキシウムは横紋筋融解症
は腸閉塞
抗がん剤のオプジーボは紫斑病と心筋炎
ラシックスは間質性肺炎
糖尿病のジャヌビアとリパ
コレステロールのリピトールとリパ
血液サラサラのリクシアナは肝機能障害
痛み止めのロキソニン

新たに厚労省が認定した副作用のある薬①

薬の種類	薬名 一般名	新しい副作用	詳細
降圧剤	ノルバスク アムロジン	劇症肝炎 無顆粒球症 横紋筋融解症など	ノルバスク、アムロジンはカルシウム拮抗薬というタイプの降圧剤。14年4月からの1年で約450万人の患者が使用したと推定される。無顆粒球症は顆粒球という白血球の一種がなくなる症状
	アジルバ	横紋筋融解症 急性腎不全	アジルバはアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬(ARB)と呼ばれる降圧剤。新たな副作用として横紋筋融解症(筋肉細胞が血液中に溶け出し、重症化すると腎臓にも負担がかかる)が加えられた
降圧剤	ラシックス オイテンシンカプセル	間質性肺炎	ループ利尿薬というタイプの薬で、降圧剤の一種として使用されることが多いが、降圧作用は弱め。間質性肺炎が表れることがあるので、咳、呼吸困難などが認められた時には胸部の検査をすること
利尿剤	ダイアート	無顆粒球症 白血球減少	ダイアートは腎臓に作用して尿量を増やすことで、浮腫(むくみ)を取る薬。心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫などの治療に使われる。新たに白血球減少の可能性が指摘された
(血液サラサラの薬)	リクシアナ	肝機能障害、黄疸	血液を固まりにくくし、心房細動による脳卒中や静脈血栓症の治療・再発予防に用いられる。出血しやすくなるので、消化器に潰瘍がある場合などは使用不可能。肝臓機能への負担を指摘
	イグザレルト	血小板減少	イグザレルトは抗凝固薬の中でも、急激に売り上げを伸ばした大ヒット薬だ。成長の理由の一つは、旧来の薬より処方方が簡単なこと。逆に安易に処方される可能性もあるので、副作用には注意したい
	エリキユース	肝機能障害	エリキユースはリクシアナと同様に心房細動患者における脳卒中、塞栓症の治療・予防に用いられる薬。重症化することはまれだが、消化管出血や脳出血など重い出血を引き起こす危険性もある

使用上の注意の改訂を決定し、製薬会社を指導するという仕組みだ。冒頭の文書は、この11月に公表された改訂指示の一部である。「指示を受けた製薬会社は、その情報をすみやかに医師や薬剤師、病院に伝えなければなりません。ただし、厚生労働省から出される改訂指示などの安全情報は年間400〜500件にも上る膨大なものです。MRもすべての情報を医師に伝えることはできませんし、そもそも医師も自分がよく使う薬くらいしか、添付文書を読まないでしょう。」

新しい副作用情報が、ただちに全国津々浦々のクリニックにまで伝わることは現実にはありえませんが、(小野氏)つまり、副作用情報をきちんと把握して薬を処方している医師は思いのほか少ないということ。だからこそ、私たち患者は自分自身で薬の副作用について知っておく必要があるのだ。次頁からの表は、16年に厚労省が改訂するよう指示した「使用上の注

患者は副作用に気づけない

意」と「重要な副作用等に関する情報」のうち、生活習慣病薬をはじめ、比較的多くの人にとって身近な薬の最新情報を集めたものだ。ラシックスは、降圧作用のある利尿剤で、高血圧症の他にむくみを取るのにも使われ、心性浮腫(うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫などの治療にも有効。昔からある薬だが、現在も年間93万人が使用する薬だ。今回報告された副作用は間質性肺炎だ。因果関係が認められた報告例は少ないものの、販売開始から50年以上も経ってからのように副作用が認められることもある。リクシアナ、イグザレルト、エリキユースといった抗凝固薬は、どれも比較的新しいタイプの薬

だ。心筋梗塞の手術後や脳梗塞の再発予防に使われる、血液をサラサラにする薬である。これまで同種の薬では、ワーファリンという抗凝固薬が主に使われていたが、頻繁に血液検査をする必要があったため使い勝手が悪かった。また、ワーファリンはビタミンKを摂取すると効果がなくなってしまうので、納豆を食べることができないなど、食事制限もあった。そこで使い勝手の良い新種の薬として発売されたのがこの3種だ。とりわけイグザレルトは急激に売り上げを伸ばしており、15年度の売上高は516億円に達している(前年比28.3%増)。

このようなメジャーな薬でも、新しい副作用は次々と見つかる。4月にはイグザレルトに血小板減少、リクシアナやエリキユースには肝機能障害などが追加された(ただしエリキユースの改訂時期は7月)。冒頭でも紹介したリピトールは薬の一般名でいうとアトルバスタチンカルシウム水和物。いわゆるスタチン系といわれる、脂質異常症(高コレステロール血症や高脂血症)の薬だ。他にもリポバス、リパロ、メバロチン、ローコール、クレストールといった薬が、いずれも10月に追加改訂指示を受けている。これらの薬は非常に多くの日本人に飲まれており、リピトールは年間360万人、クレストールは542万人も使用患者がいる超メジャー級の薬だ。新たに加えられたのは、免疫性壊死性ミオパチーと呼ばれる副作用。脱力感、炎症を伴わない筋線維の壊死など、筋肉への障害が見られる副作用である。脂質異常症薬とミオパチーの関連を示す症例は、実際それほど多くの

数が報告されているわけではない。因果関係が否定できないとして紹介されるのは、計1300万人を超える使用患者のうち、2例だけだ。しかし、その数が少ないからといって、副作用を無視していいというわけにはいかない。このように副作用の症例が認められるには、患者が医師に症状を訴え、製薬会社、厚労省、PMDAと伝言ゲームのように伝わった情報から薬と症状の因果関係が認定される必要がある。副作用が出ていないのに患者が意識しなかったり、医師が薬との関連性に気づかなかった例が無数にあるはずで、実際には数十倍、数百倍の副作用が生じている可能性も高いのだ。薬剤師の宇多川久美子氏が語る。

「患者自身が副作用に気づかないことはよくあります。また、副作用が出る患者のほとんどが、薬を何種類も飲んでいて、症状と薬の因果関係に気づくことは極めて困難です。そういうケースだと、厚労省へ副作用として報告することは難しく、情報は上がっていきません」このように、世の中には報告されていない副作用が溢れている。カデュエットは、コレステロールの薬に降圧剤を合わせた「配合剤」だ。これもスタチン系と同様の副作用が報告されているが(10月)、このような配合剤は、他にもいろいろと問題点がある。新潟大学名誉教授の岡田正彦氏が語る。「これはアムロジンという降圧剤とリピトールというコレステロールの薬を合わせたものです。血圧が高い人はコレステロールも高いだろうという、安直な発想で作られています。実は、これは製薬会社の都合で生まれたような

新たに厚労省が認定した副作用のある薬③

薬の種類	薬名/一般名	新しい副作用	詳細
痛み止め	ロキソニン ロキソプロフェン ナトリウム水和物	小腸・大腸の 狭窄・閉塞	風邪や生理痛、頭痛などに効く手軽な痛み止めとして市販もされているロキソニン。効き目は鋭いものの、消化器への負担は大きく、飲み続けると消化管出血も。今回、「腸の狭窄・閉塞」が指摘されたので、悪心、腹痛、腹部膨満には要注意
	ボルタレン ジクロフェナク ナトリウム	消化管の狭窄・閉塞	ロキソニンと同じNSAIDs系と呼ばれる解熱鎮痛剤だが、効果はより強力。副作用も多いことで知られ、食欲不振、嘔吐、下痢、口内炎、発疹、頭痛、眠気、穿孔を伴う消化管潰瘍、間質性肺炎など挙げればきりが無い。安易な長期使用は禁物
胃薬	ネキシウム エソメプラゾール マグネシウム水和物	横紋筋融解症	PPIと呼ばれる胃酸を押さえる薬で、逆流性食道炎、いわゆる胸焼けに効く。胃の弱い人は、長期にわたって服用しがちだが、骨粗鬆症が進むという海外の調査研究もあるので、漫然と飲むのは避けたい。今回は横紋筋融解症が追加された
アレルギー性疾患治療薬	ディレグラ フェキソフェナジン塩酸塩・ 塩酸プロイロエドリン	急性汎発性発疹性 膿疱症(全身に膿疱 ができ発熱する)	ディレグラはアレルギー性鼻炎の治療に使われることが多い。アレグラという抗アレルギー薬と塩酸プロイロエドリンという鼻づまりを改善する薬を併せた合剤である。頭痛、眠気、口の渇き、便秘などの副作用の他に、発疹が起きることも
抗ウイルス点滴薬	ラピアクタ ペラミビル水和物	アナフィラキシー (血圧低下、顔面蒼白、 冷や汗、呼吸困難など)	ラピアクタはA型またはB型インフルエンザウイルス感染症に使用される抗ウイルスの点滴薬で年に17万人ほどに投薬されている。ショック、アナフィラキシー反応の症状が表れることがあるので、慎重に投与するよう注意喚起された
抗がん剤	オブジーボ ニボルマブ	免疫性血小板減少性 紫斑病(皮下出血) 心筋炎など	オブジーボは肺がん、腎がんなどにも保険適用されることが決まった免疫療法の薬。1年使用すると3500万円と超高額だったため、大きな議論を呼び、薬価は大幅に引き下げられることに。新薬のため、今後も副作用が次々と報告されかねない

にはもつと深刻な問題が潜んでいるとみている。「DPP-4阻害薬は、飲んだ人が心不全を起こして入院する割合が多いというデータがあり、そちらがより、問題が大きいのではないか」と指摘されている。一方で、その薬を飲んでも寿命が延びないどころか、逆に縮まるかもしれないという非常に本質的なデータはなかなか明らかにならなかった。「こういう副作用がありました、非常に稀なケースですよ」と、逆に「隠れ薬」に使われる可能性もあるのです。

世の中にはあまりに多くの薬が流通し、さまざまな飲まれ方をしている。その意味での副作用を見つけて出すのは非常に難しい。医者や製薬会社、厚労省が把握している情報も、全体のほんの一部でしかないのだ。他に身近な薬では、アレルギー性鼻炎で用いられるディレグラ。これも抗アレルギー薬と鼻づまりを改善する薬を併せた合剤である。眠気、頭痛、口の渇きなどがよくある副作用だが、4月に追加されたのは、急性汎発性発疹性膿疱症という皮膚疾患だ。市販薬としてもおなじみのロキソニンは、3月に小腸・大腸の狭窄・閉塞が加えられた。ロキソニンは効き目が鋭いものの、もともと消化器にかかる負担が大きいことでも知られる薬だった。今回は一歩進んで、「小腸・大腸の潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがある」と改訂された。同じく解熱・鎮痛薬のボルタレンの副作用にも「消化管の狭窄・閉塞」の可能性が加えられた。年間の薬価が3500万円と超高額に上るため話題になったオブジーボ

新たに厚労省が認定した副作用のある薬②

薬の種類	薬名/一般名	新しい副作用	詳細
抗脂質異常症薬	リピートル リポバス リバロ メバロチン など アトルバスタチン カルシウム水和物、 シンバスタチンなど	免疫性壊死性 ミオパチー (筋肉痛や筋力の 低下など)	いずれもスタチンと呼ばれる種類の高脂血症、高コレステロール血症の薬で、以前から横紋筋融解症の副作用が指摘されてきた。それぞれの推定使用患者数を合計すると、のべ1000万人を超える。今回追加された免疫性壊死性ミオパチーは、脱力、炎症を伴わない筋線維の壊死などが特徴。投与中止後も持続する例が報告されている
降圧剤・抗脂質異常症薬	カデュエット アムロジピンベシル 酸塩・アトルバスタチン カルシウム水和物	免疫性壊死性 ミオパチー	血圧の薬であるアムロジピンとコレステロールの薬であるアトルバスタチンを配合した薬。このような配合剤は薬と副作用の因果関係の解明が難しく、片方の薬だけを減らしたいと思っても調整がしにくいので、投薬のさじ加減ができない
糖尿病薬	エクア グラクティブ ジャヌビア など ビルダグリプチン、 シタグリプチンリン酸塩水和物	類天疱瘡 (はっきりした理由 がないのに水疱が できる)	エクアは年に100万人以上、グラクティブとジャヌビアは合わせて200万人以上が使用している糖尿病薬(DPP-4阻害薬)。便秘、腹部膨満など胃腸系の副作用が多いと言われる。重大な副作用としてはアナフィラキシー反応(じんましん、咳、呼吸困難など)、低血糖症などが指摘されてきたが、新たに皮膚疾患との関係性が追記された
向精神薬	リタリン コンサータ メチルフェニデート塩酸塩	肝不全 肝機能障害	病的な眠気を起こすナルコレプシーの治療薬で、強力な覚醒作用がある。また注意欠陥・多動性障害(ADHD)の治療にもしばしば用いられている。依存性が極めて高いため、適応疾患の治療に精通した医師でなければ処方してはいけない
	ジプレキサ オランザピン	薬剤性過敏症症候群 (発疹、発熱、 肝機能障害ほか)	統合失調症や双極性障害における躁症状、うつ症状の改善に用いられる。「初期症状として発疹、発熱が見られ、更に肝機能障害、リンパ節膨張(中略)を伴う遅発性の重篤な過敏症状があらわれることがあるので」十分に観察を行うこと

ロキソニンで腸閉塞に

糖尿病薬ではエクア、グラクティブ、ジャヌビアなどが追加改訂された。いずれもDPP-4阻害薬と呼ばれる新しいタイプの薬だ。前出の岡田氏が語る。

「今回、厚労省に指摘されていくのは類天疱瘡という副作用です。この病気が高齢者に多いのですが、水ぶくれがぼこぼこできて、それが破れて細菌感染を起こすこともある」

薬です。単体の薬では特許が切れてしまい、ジェネリック薬が出てきて儲けられなくなるので、薬を組み合わせることで新しく特許を取って、もう一儲けしようというわけです。配合剤を飲んで寿命が延びるといってデータはありません」

はそれでもできない。実際、高血圧、脂質異常症、糖尿病といった生活習慣病は併発している患者が多い。だから製薬会社の言い分としては「飲み忘れもなくなりまし、一度に飲めるから便利ですよ」ということになるのでしょうか。しかし、私は薬を飲むのは少し不便なくらいがいいと思っています。あまりに便利だと安易に服用してしまい、薬をやめる機会も奪われてしまう。薬を飲むのが面倒だから、生活習慣を改善しようと考えてるほうがよほど健康的ですよ」

も複数の副作用が追加された。このような新しい薬についてはとりわけ注意深くデータが集められ

るので、新しく加わる副作用の数も多い。そもそも副作用のない薬はないし、薬とは治療というメリットと副作用

というリスクを天秤に掛けるながら飲むものである。「副作用については、医師側から説明がなくても、患者自らが調べると

いう意識が必要です。もちろん、神経質になりすぎるのもよくないですが、自分の飲んでる薬の名前と主な副作用は知っておいて当然だと思

ます」(宇多川氏)
重大な副作用は意外に身近なところで起きています。すべてを医者任せにしては、自分や家族の健康は守れない。

60すぎたらこの「睡眠薬・安定剤」を飲んではいけない

飲み続けると認知症になる

「デパスは気軽に使われていた薬の代名詞です。60代、70代になってからデパスを飲み始めた結果、依存症に陥る人がたくさんいます。一般内科や整形外科などでも処方されるのですが、依存性が高いためやめられない人が多い」

「16年10月14日、エチゾラム(デパス他)、ゾピクロン(アモバン他)という2種類の精神安定剤・睡眠導入剤が、第三种向精神薬に指定された。この指定を受けると、投与期間の上限が30日になり、取り扱いがより厳しく規制されるようになる。厚生省がこの薬の危険性を認めたのだ。」

授の上條吉人氏が語る。「デパスを始めとするエチゾラムはベンゾジアゼピン系と呼ばれる薬です。神経細胞の活動を抑制する働きがあるGABAという脳内物質の作用を増強させるので、GABA作用薬とも分類します。エチゾラムもゾピクロンも高齢者に安易に処方されている。筋弛緩作用があるので高齢者が服用すると、ふらついて転倒

して骨折するという事故が増えています。また、せん妄の問題もあります。意識が混濁して、自分のおかれている状況がわからなくなったり実際には無いものが見えて、不安や恐怖で興奮状態になる。さらに、これらの薬を長期間にわたって服用していると認知症の発症率が上がるといふこともわかってきました」

とりわけ高齢者にとって恐ろしい薬であるにもかかわらず、これまで日本では野放しで処方されてきた。松田医院和漢堂院長の松田史彦氏が語る。「30年以上前から、救急外来に『デパスが欲しい』と言ってくる患者が

厚生省が新たに認定した「副作用のある薬30」

クの院長、長尾和宏氏だ。

埼玉医科大学医学部教

授の上條吉人氏が語る。

このように、デパスは

「1型認知症やレビー小体型認知症なのに、元気がないという根拠でうつ病と誤診されるケースがよくあります。安易にSSRIを処方された結果、副作用でふらついて転倒したり攻撃的になったりする。向精神薬は急にやめると離脱症状(禁断症状)があり、医師と相談しながら徐々に減量する必要があります」(前出の長尾氏)

高齢者は服用に気をつけたい睡眠薬・安定剤

販売名	一般名	薬の種類	詳細
デパス	エチゾラム	抗不安薬(ベンゾジアゼピン系)	依存性があり欧米では危険性が指摘されてきたが、日本では漫然と処方されてきた。長期使用すると脳が萎縮し、認知症になりやすい
ソラナックス	アルプラゾラム	抗不安薬(ベンゾジアゼピン系)	ベンゾジアゼピン系の薬は中毒性があり、やめる際に離脱症(禁断症状)が出る。日本はこの種の薬の処方量が、世界でもトップ級
パキシル	パロキセチン	抗うつ剤(SSRI)	本当は認知症なのに、うつ病と誤診されてSSRIを処方される人が多い。高齢者はふらつき、攻撃的になるなどの副作用が出やすい
マイスリー	ゾルピデム	睡眠導入剤(イミダゾピリジン系)	比較的短期間に作用する薬で翌朝まで効果が残りにくいので、高齢者に向いていると言われる。ただし長期使用するとやめるのが困難
ハルシオン	トリアゾラム	睡眠導入剤(ベンゾジアゼピン系)	効果は強いが依存性が高く、特に高齢者の場合は効果が強く出過ぎて朦朧として転倒する危険性もある。似た薬にレンドルミンがある
ベルソムラ	スボレキサント	睡眠剤(オレキシン受容体拮抗薬)	2年前に発売されたばかりの睡眠薬。脳内時計を調整する薬で、高齢者向きと言われているが、今後、副作用が報告される可能性も

いました。デパス中毒です。欧米では70年代からベンゾジアゼピン系の薬の中毒性が問題になって、規制がかかっていま

したが、日本ではそのような動きはなかった。その結果、日本はベンゾジアゼピン系の薬の消費量が世界トップクラス

の国になっているのです」国立精神・神経医療研究センターの松本俊彦部長は、日本でどのような薬が濫用されているのかを調査しているが、その結果によると濫用されている処方薬の第1位がデパスを含むエチゾラムだった。

「精神科の薬には過量服薬(オーバードーズ)と誤診されて「薬漬け」に

「医師も専門が細分化されており、自分の専門分野以外には興味のない人もいるので、病院で出された通りに薬を飲んでいたら、大変なことになる」ということもありえます」(前出の松田氏)

誤診されて「薬漬け」に

「処方の上限期間が短くなったことで医師に対する注意喚起にはなる。しかし、自分がどれだけ危ない薬を出しているのか認識していない医師もいます」(前出の松田氏)

「処方数が減りそうもない。高齢者が服用を注意すべき精神科の薬は、他にたくさんある。」

「高齢者は肝臓や腎臓の代謝が落ちてくるため、体内に薬の成分が残ります。副作用が若い人より強く出ることも多い。」

「同じベンゾジアゼピン系の睡眠薬でハルシオン、レンドルミン、リスミー、エリミン、ユーロジンなどは依存性が高い。デパス同様転倒や認知症の危険が高まります。」

「同じベンゾジアゼピン系の睡眠薬でハルシオン、レンドルミン、リスミー、エリミン、ユーロジンなどは依存性が高い。デパス同様転倒や認知症の危険が高まります。」

「安定剤や睡眠薬を飲む際は、十分な注意と覚悟を持たないとかえって寿命を縮めることになる。」

「デパスの適用範囲は神経症による不安、緊張、抑うつ、睡眠障害、うつ病による不安、腰痛症など非常に広いため、急には

「デパスの適用範囲は神経症による不安、緊張、抑うつ、睡眠障害、うつ病による不安、腰痛症など非常に広いため、急には

「安定剤や睡眠薬を飲む際は、十分な注意と覚悟を持たないとかえって寿命を縮めることになる。」